



天 鐘

THUNDER
SHOCKS
天

Touhou Project
Fun Book

R-18
成人向け

目が覚めるとそこは
暗く湿った地下牢の中で

お願い!!

私の腕は拘束具で
繋がれていた

外れて!!

周囲には無数の気味悪い
生物に囲まれており

ただ脚を
振る僅かな抵抗しか
許されなかった

やだう!!

頼みの緋想の剣も
ここにはなく

何なのよこいつら
気持ち悪い……
お願い……
それ以上
近寄らないで……!!

触手達はそれを
知つての事か

あざ笑うかのように
その大きな口を
こちらへと覗かせてきた

嘘……
冗談よね……!?

ねえ……誰か……
誰かいないの……!?

私はただその身の毛がよだつ
恐怖に怯える事しか出来なかった

食べられるしか無いのか……
絶望が襲いかかる

衣装……

助けて……





やだっ!!
近寄らないで!!

ズ
ズ

その中から一匹が
白濁液を撒き散らし
ながら躍り寄ってきた

嗅いだだけで
わかる悪臭

んっ...!!

んっ!!

巻きつき抑えられた私の顔に
唾えろと言わんばかり
その身をすり寄せる



だれがあんだ達
みたいのを!!!

絶対にお断りよ

目の前の現実から目を
背けたく首を振るうも

湧き上がる恐怖

拒みつづけた口は
外へと助けを求める

突如として襲う
首への圧迫感

殺される

はっ

苦しきから
口を開いた瞬間

それを待つていたと
言わんばかりに
口に飛び込まれ

口内を激しく
犯される

身動きは取れず

私はそれを耐える
しか出来なかった

さらに奥へと
犯される

何か中に出されてる...

無理やり喉に流し込まれて
飲まされちやうだ...

生臭い...

ねっとり喉に
絡みつくと...

気持ち悪い...

「一体何を飲まされたの...
身体が...アツく火照ってくる。」

なっ!?

なっ...何するの!!
やめなさい...

なに...!?
服が擦れただけなのに
全身に電気が流れるように...!!

全身の感度が急激に
上がってる...!!!

さっき飲まされたのは
もしかして...

媚薬...!?

擦れただけでダメなのに...

そんなところ
唾えられたら...

おかしくなっちゃっ!!

ちよと!!

私...

そこは
ダメ!!





得体の知れないものに
犯される気持ち悪さ...

んっ...
お願い...

そんな...胸ばかり...
いじめ...ないで...!!

そんなに激しくされたら...

お願いもうやめて...
ゆるして...ください...

しかし...

それ以上の快樂が
暴力的に襲いかかる

じゅわ

切ない...

あそこが...

そんな責めが胸だけで
終わるわけが無く

い...いやっ!!

触手達は私の秘部へと
手を伸ばす

閉じようにも脚を
強く締め付けられ

そこだけはダメ!!
今触れたら私...!!

無理やりその上に
跨がされてしまう

今までに感じたことのない
衝撃が全身を駆け巡る

身体が...あそこが...
耐えられない!!

今なら許してあげる!!
だからやめて!!



ダメっ!!
やめてえ!!

その後何度も陰核を
責め擦り上げられ

だめええっ!!

いやっ!!...やだっ!!
おかしくなっちゃう!!

私は逃れるため必死に
振りほどこうとするも
その頑張りは虚しく

その度に快感で
体を反らせてしまう

そして私の大事なところに
覆いかぶさるように責めたて
はじめてきた

身体の隅から隅まで
触手に這い弄られ
快感を与え続けられた

んあっ!!

はっ...離してお願い!!
離してっばあ!!



私の敏感なところを
これでもかと刺激する



決して逃げることは許されず



いやあつ!!

休む間も無く触手達の責めは続き...



下も



上も

全身ただひたすら...



気持ちよく...
なんか...

私の意志とは別に湧き上がる
その感情を媚薬のせいにして
耐えることしか出来なかった...

湧き上がる
羞恥心と快楽



だめっ!!

まるで私の身体が彼らの玩具で
あるかのように乱暴に弄ばれる

しかし我慢も限界に達し

身体の中から沸き上がるものに
耐え切れなくなった…!!

イッちゃっ!!

イクッ!!

ダメッ!!

ほ

そして絶頂を
迎えた…!!





私が果てるのを見て
ようやく触手達が
離れていく…



私があんな化け物に
イカさせるなんて…

はー、
はー、

でも…これでやっと
開放される…

にちやあ



助かった…
そう思っていた…

えっ…!?
な、何…!?

しかしそんな幻想に
眼前の恐怖が現実を
突きつける

鎖で檻に繋がれてる時点で私は
こいつらに犯され続けるしか
無いのだと…!!

ズ
ズ
ズ
ズ

そう言わんばかりに
大きな口をこちらへと
開いてきた

ん

自由を奪われた私を
壁へと押さえ込んだ

抵抗する間も無く触手は
再び身体へと巻きつき

ギョッ
やめてそこだけは!!
絶対ダメ!!

ギョッ
赤ちゃんつくる
大事なところなの!!
触らないでっ!!



触手は私のあそこを濡らすよう念入りに愛撫する

いやあつ!!
だめっ!!

んっ...!!
あああ...っ

は、離れなさいよ
気持ち悪い...!!

あんたなんか
触れていいところ
じゃないんだから!!

それ以上触ったら
許さ...

ひゃんっ!!

身動きすら出来ない
私の中へと先端を
差し込んだ

んあつ!!
いやああつ!!

やだ...
先っぽが入ってきて...
抜いてえ...!!

やあつ...

それ以上...
入れないで...



んっ…あつ
いやあああああつ!!

願いは虚しく触手は
一気に私の中へと
入ってきた

やつ…そんな
なかあつ…

入ってっ…!!
動いてっ…

かあつ…
かき回しちや…

ダメエ…!!
ぬ…抜いてえ…!!

おっ…おねがひっ
…ら…んっ…
乱暴…しないでっ…!!



私のお尻は触手が
がつりと啜えこまれ

だめっ…!!

そんな激しく!!
突いちややあ!!
だめっえ!!

再び彼らの玩具に
されるように激しく
責め突き立てられた

抜いてっ!!
抜いてよおっ…!!

そして口内にも
触手に侵入され

んぐっ!!

うぐぐうっ!!

先ほど飲まされた媚薬を
今度はたっぷりと
流し込まれる

むせ返る臭い
高まる感度
意識が飛ばされそう

お願い…!!

おまんこもう
耐えられない…

ち…乳首も…
先っぽばかり
いじめないでっ…!!

出来上がっていた身体が
媚薬によって更に疼き出す



もうだめ...
気持ちよすぎて耐えられないうっ!!



全身が性感帯に
されたように
気持ち良すぎる



き...気持ちいいよお!!

このままじゃ私
馬鹿になっちゃうっ!!

一度身体に覚えさせられた
快楽を忘れることは出来ず

んん!!
らめええつ!!

お:奥つ!!んあつ!!
そんな奥突かないで!!

そこ弱いっ!!

私は逃げるこ
すら忘れていた

だめっ!!
気持ちよすぎちやう!!

身も心もこの気持ち良さを
求めてしまい

すこい!!
すこいのそこお!!

子宮の入り口
ノックされてる!!

止まないよ!!

次第に私の心は
逆らうことを止め

触手ちゃんほに
おまんこ沢山
じゅぶじゅぶって!!

そんな激しく
されたらつ!!

イツちやうつ!!
イツちやうよお!!

もう後に戻ることが
出来ない

あたまが真っ白に
なつちやうつ!!

きちやうつ!!

止めどなく襲う
快楽の波に
飲み込まれていった:

激しく続く
背後からの責め

この屈辱的な姿勢とは裏腹に
いつ突かれるのかわからない
不安がより感覚を鋭くする

媚薬で火照り敏感になった
身体では意識を保つ
ので精一杯だった



触手の動きが激しくなり
中で脈打つのを感じた

中で…中で膨らんで…!!
ビクビクって!!
何か…何かが
出てきちゃう!!
触手から出ちゃう!!

ただ快楽の虜になった今の私には
来る絶頂を待つしか出来なかった

触手ちゃんぽから何か
出されちゃうよおっ!!





駄目だ...もう...
クセになっちゃいそう...

中にたっぷり...
出されちゃった...

もっと...もっと私を
犯して...

はー♡

あとがき。



こんにちは。はじめまして。どもです、neropasoです。

今回の本は例大祭10の時に出した本の完成版みたいなものになります。お手に取って頂きありがとうございます。

この本を出すにあたって Saryu 先生からはゲスト原稿を、

A本君からは資金をカンパいして頂きました。やはり持つべきものは反ですわね。

友達、素晴らしい。次回から友達として頼っていただくの很高兴です(ゲスト顔)

冗談は置いておいて、今年も色々な方に支えられたと本当に感謝です。来たる2014年、来年は頂いたものを自分なりに作品として返していければと思えます。もしよろしければ来年もneropaso、あぶら畑牧場、共々よろしくお願ひします!! 皆様は皆さんよいお年を!!



2013年
ありがとうございました!!

来年から
本を出す!!



ゲスト紹介

是非とき
天子ちゃん
一本目
描いてもら
たいですわ
頂いたゲスト
次のAP-3に!!

ここからpixiv、twitter
23!!
↓
Saryu さん 2017が増える!!
またゲスト いて下さる
ありがとうございます
お願ひします。

HN: 沙流 (Saryu)
pixiv: 316949
twitter: Saryu42

今回ゲスト原稿をくださったぐうの音も出ないほどの聖人な Saryu 先生。pixivではオリジナル、東方と幅広いジャンルを可愛く素敵な絵柄で描かれています。今回の冬コミから同人を始められるようなので是非フェックを!!

おくづけ

サークル: あぶら畑牧場。
発行者: neropaso
発行日: 13/12/30 (コミックマーケット85)
連絡先: neropaso@hotmail.co.jp

印刷所: サングループ様



pixiv: 63681 / twitter: neropaso

*18歳未満の購入、向販、盗版、無断転載、複製、アフィリエイト等も禁止です。



その総領様のご命令です

緋想の剣を持ち出したのは流石にやりすぎた



……ッ

衣玖!

あなた総領の娘にこんなことしてタダですむと思ってるの!?

おしおき! 触手で
天子ちゃん
作/沙流(saryu)



ああっ
可哀想な総領

絶対楽しんでるよ
この女アツ!!!

まあコマも少ないので手早くやつちやいませよう



苦しいですか総領嬢様

これに懲りたらもう二度と……



えっなにこれ
超きもちいいッ!!!

ブレないなあ
この娘……



まああああああ

キュウ



あぶら火牧場。

